

不良行為少年の補導状況

		飲 酒	喫 煙	深夜はいかい	不良交友	暴走行為	家 出	そ の 他	合 計
学 職 別	小 学 生			2	2		8	28	40
	中 学 生	20	341	315	3	5	57	226	967
	高 校 生	8	289	375		12	16	55	755
	その他学生	2	26	7		2		2	39
	有 職 少 年	20	671	443	5	32	4	79	1,254
	無 職 少 年	22	383	480	7	23	2	63	980
年 齢 別	10歳以下				1		5	13	19
	11歳				1		3	8	12
	12歳		4	14			2	19	39
	13歳	4	73	52	2	1	25	55	212
	14歳	10	156	146	1		20	98	431
	15歳	11	270	276		7	18	97	679
	16歳	15	520	598	3	18	8	67	1,229
	17歳	16	389	500	6	28	5	61	1,005
	18歳	8	209	36	3	16		30	302
	19歳	8	89			4	1	5	107
合 計		72	1,710	1,622	17	74	87	453	4,035

※ その他は、「粗暴行為」、「刃物等所持」、「金品不正要求」、「金品持ち出し」、「無断外泊」、「怠学」、「不健全性的行為」、「不健全娯楽」、「火遊び」、「迷惑行為」、「有害図書類等携帯行為」。

非行少年を生まない愛媛づくり

- 少年非行の背景として、
- 少年自身の規範意識の低下とコミュニケーション能力の不足
 - 家庭、地域社会の教育機能の低下
 - 少年が居場所を見出せずに孤立し、疎外感を抱いている現状等があげられます。

このような情勢から、愛媛県警察では、

- ★ 少年に手を差し伸べる立ち直り支援
- ★ 少年を見守る社会気運の醸成

を重点に、関係機関・団体や地域のボランティアの方々の協力を得ながら「非行少年を生まない愛媛づくり」に取り組んでいます。

少年サポートセンター分室「ひめさぼ」では、
○ 友達や親子関係等で悩んでいる ○ 犯罪の被害に遭った
○ いじめに遭っている ○ 子どもの非行で困っている
など、少年に関する相談を受け付けています。
場所 松山市築山町12-33 松山市青少年センター2階
電話 089-934-0110(警察本部代表電話番号)
日時 月曜～金曜及び第1・第3土曜(祝日等を除く) 午前9時～午後5時

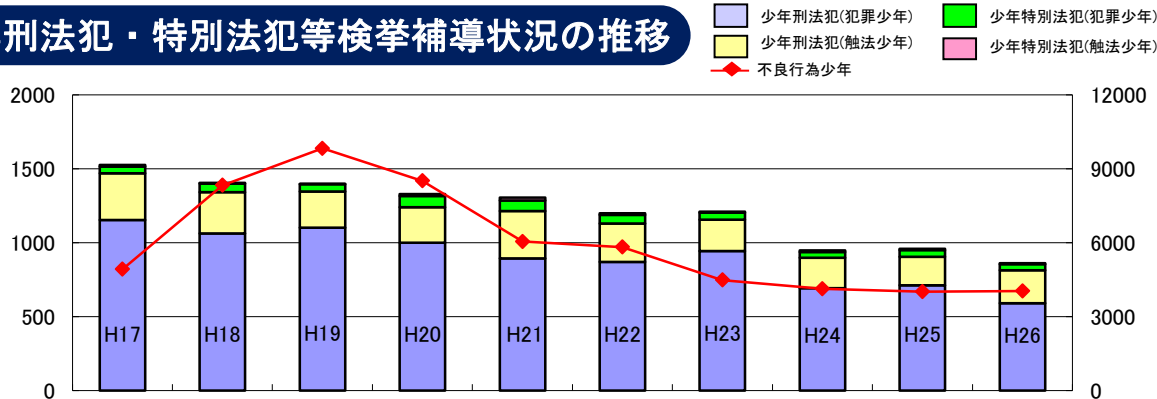
愛 媛 県 警 察

少年非行の概況 (H26年)

少年非行の特徴

- 少年刑法犯は減少 (-10.0%)。うち触法少年は増加 (+16.1%)。
- 少年刑法犯の38.9%が中学生(小・中・高校生で73.1%)。
- 少年刑法犯の56.0%初発型非行。うち52.2%が万引き。
- 少年特別法犯は減少 (-25.9%)。
- 少年特別法犯の35.0%が軽犯罪法違反、15.0%が覚せい剤取締法違反等薬物事犯。

少年刑法犯・特別法犯等検挙補導状況の推移



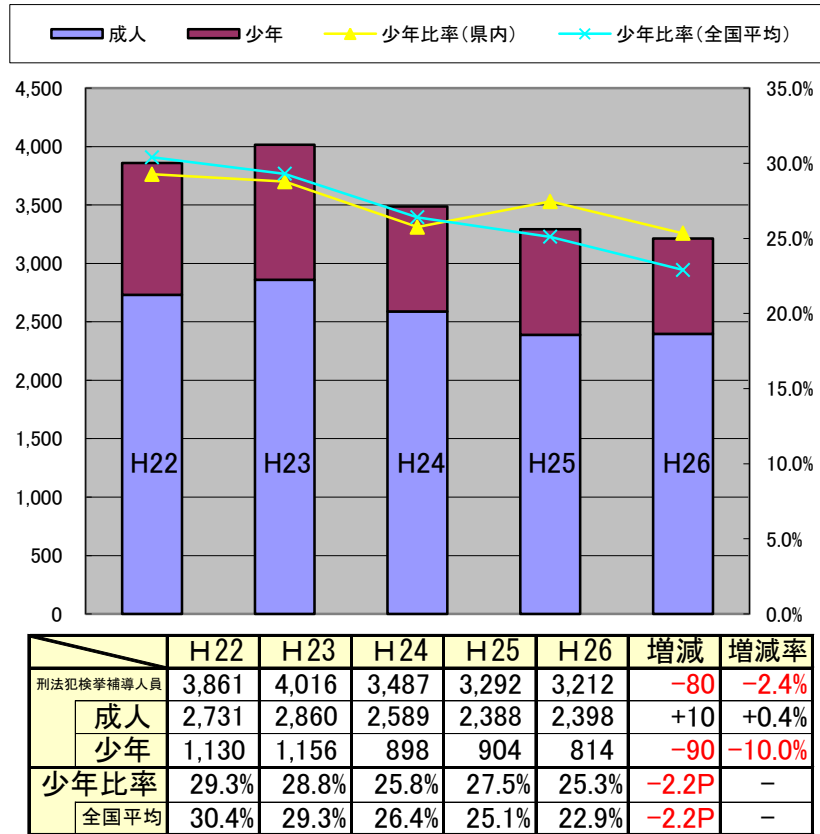
	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	増 減	増減率
少年 刑 法 犯	1,470	1,342	1,346	1,239	1,214	1,130	1,156	898	904	814	-90	-10.0%
犯罪少年	1,154	1,062	1,102	999	894	870	943	692	711	590	-121	-17.0%
触法少年	316	280	244	240	320	260	213	206	193	224	+31	+16.1%
少年特別法犯	56	63	52	90	90	69	53	50	54	40	-14	-25.9%
犯罪少年	45	57	50	76	72	57	47	40	46	33	-13	-28.3%
触法少年	11	6	2	14	18	12	6	10	8	7	-1	-12.5%
非行少年総数	1,526	1,405	1,398	1,329	1,304	1,199	1,209	948	958	854	-104	-10.9%
非行少年に占める触法少年の割合	21.4%	20.4%	17.6%	19.1%	25.9%	22.7%	18.1%	22.8%	21.0%	27.0%	+6.0P	-
全国平均	13.9%	14.0%	14.5%	15.8%	16.3%	16.6%	17.0%	17.3%	17.8%	19.0%	+1.2P	-
非 行 率	7.36	6.72	6.74	6.21	6.08	6.18	6.32	4.91	4.94	4.45	-0.49	-9.9%
全国平均	8.32	7.59	6.99	6.26	6.25	6.27	5.71	4.81	4.18	3.65	-0.53	-12.7%
不良行為少年	4,920	8,325	9,822	8,505	6,045	5,819	4,481	4,124	4,012	4,035	+23	+0.6%

※ 増減及び増減率は前年との対比。非行率は、少年人口(国勢調査による6～19歳の人口)千人当たりの少年刑法犯検挙補導人員。

非行少年等警察署別検挙補導状況

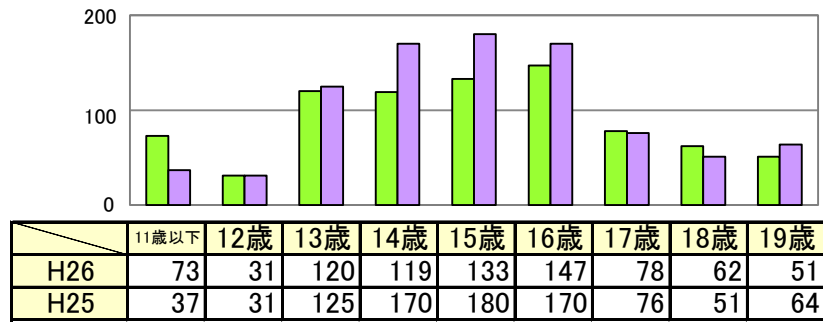
	少 年 刑 法 犯		少 年 特 別 法 犯		非行少年の占める署別割合	不良行為少年 ※少年課除く
	犯罪少年	触法少年	犯罪少年	触法少年		
四国中央	12	10	5		3.2%	145
新 居 浜	49	23	8		9.4%	408
西 条	29	12	2		5.0%	286
西 条 西	19	4			2.7%	66
今 治	60	24	4	4	10.8%	656
伯 方					0.0%	14
松 山 東	146	37	5		22.0%	712
松 山 西	62	24	2	1	10.4%	770
松 山 南	106	56	4		19.4%	275
久万高原					0.0%	6
伊 予	43	12	1		6.6%	119
大 洲	13			1	1.6%	90
八 幡 浜	10	6	1		2.0%	61
西 予	8				0.9%	19
宇 和 島	28	16	1	1	5.4%	371
愛 南	5				0.6%	9

刑法犯に占める少年の割合(少年比率)の推移



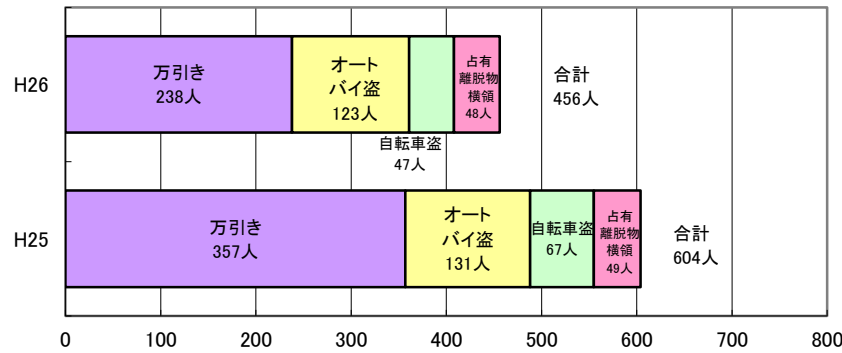
※ 刑法犯検挙補導人員は、触法少年を含む。
 ※ 少年比率は、刑法犯検挙補導人員に占める少年刑法犯の割合。
 ※ 増減及び増減率は前年との対比。

少年刑法犯 年齢別検挙補導状況



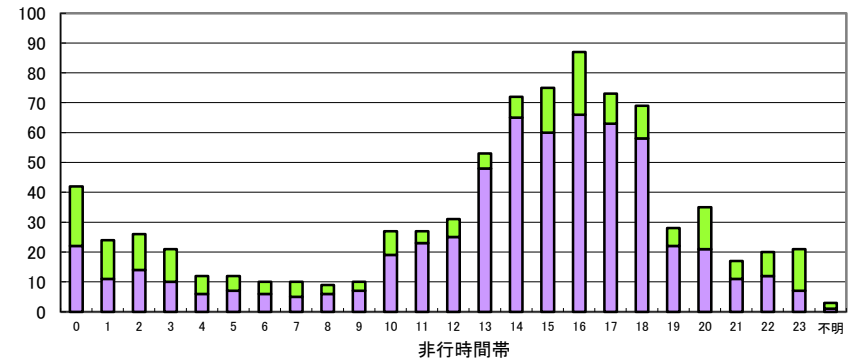
● 非行の中心は、13歳～16歳で、全体の63.8%(前年71.3%)。前年の非行の中心(14歳～16歳)より低年齢化。

初発型非行 検挙補導状況



● 少年刑法犯のうち初発型非行は456人で、全体の56.0%(前年66.8%)。うち万引きが238人で52.2%(前年59.1%)を占める。

少年刑法犯 非行時間帯別検挙補導状況

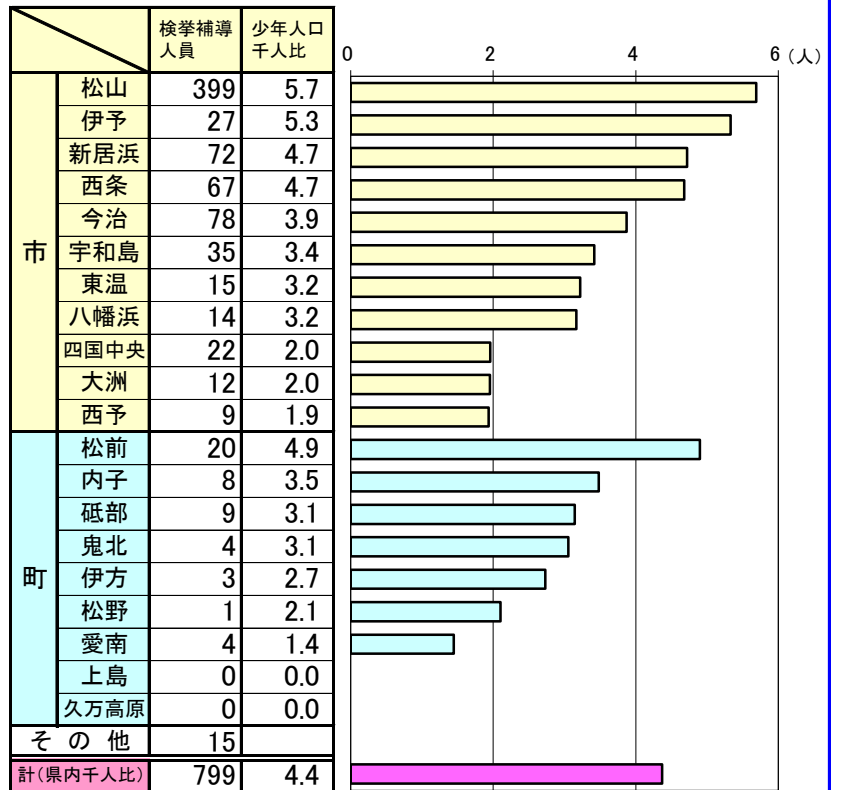


● 小・中・高校生の非行は14時から18時の下校時間帯に集中。

少年刑法犯 再非行少年の割合の推移

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	増減
少年刑法犯(初犯)	847	804	765	772	590	630	515	-115
少年刑法犯(再非行)	392	410	365	384	308	274	299	+25
再非行少年の割合	31.6%	33.8%	32.3%	33.2%	34.3%	30.3%	36.7%	+6.4P
全国平均	28.3%	28.1%	28.5%	29.4%	30.4%	30.3%	30.8%	+0.5P

少年刑法犯 居住地別検挙補導状況



※ 少年人口は平成22年実施の国勢調査による6～19歳の人口を使用。
 県内千人比は、県内居住少年の検挙補導人員を使用。
 その他は、愛媛県外の居住少年及び住居不定者を示す。

少年特別法犯 検挙補導状況

		合計	年 齢 別							学 職 別				
			13以下	14	15	16	17	18	19	中学生以下	高校生	その他学生	有職	無職
H26	少年特別法犯	40	7	3	6	4	4	7	9	10	6	1	19	4
	毒劇法等	6						3	3				4	2
	軽犯罪法	14	6	2	2	3	1			8	2		2	2
	児童ポルノ法	2				1		1			1		1	
H25	少年特別法犯	54	8	8	14	8	7	6	3	20	20	3	6	5
	毒劇法等	2					2				2			
	軽犯罪法	19	5	1	10	2	1			7	9			3
	児童ポルノ法	16		4	3	5	3	1		6	8	1		1
	迷防条例	6	3	1		1		1		4	1	1		

※ 毒劇法等は、「毒物及び劇物取締法、覚せい剤取締法、麻薬及び向精神薬取締法」違反、児童ポルノ法は、「児童買春、児童ポルノに係る行為等の処罰及び児童の保護等に関する法律」違反、迷防条例は、「公衆に著しく迷惑をかける暴力的不良行為等の防止に関する条例」違反の検挙補導人員を示す。

● 軽犯罪法違反が全体の35.0%(前年35.2%)。毒劇法等が全体の15.0%(前年3.7%)。
 ● 小・中・高校生が全体の40.0%(前年74.1%)。

★ 本リーフレットで使用している用語の解説

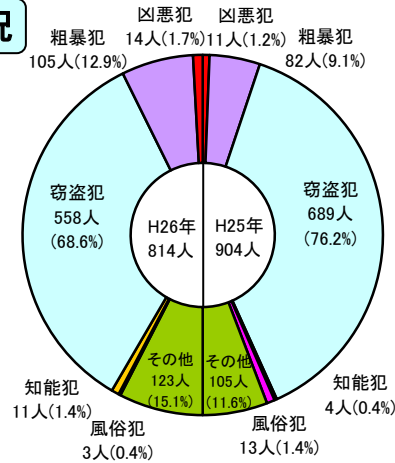
刑 法 犯	刑法に規定する罪並びに「爆発物取締罰則」「暴力行為等処罰ニ関スル法律」等13法令に規定する罪をいう。
特 別 法 犯	刑法犯を除く全ての犯罪(条例を含む)をいう。
犯 罪 少 年	特に断りのない限り、犯行時及び処理時の年齢が14歳以上20歳未満の少年をいう。
触 法 少 年	14歳未満で刑罰法令に触れる行為をした少年をいう。
非 行 少 年	刑法犯、特別法犯を犯した少年(犯罪少年及び触法少年)をいう。
初発型非行	万引き、自転車盗、オートバイ盗、占有離脱物横領の非行をいう。
不良行為少年	非行少年には該当しないが、飲酒、喫煙その他自己又は他人の徳性を害する行為をして補導した少年をいう。

※本資料中の図表による構成比については、四捨五入の関係で、合計の数値と内訳の数値の計が一致しない場合がある。

少年刑法犯 罪種別状況

	H26	H25
凶悪犯	14	11
粗暴犯	105	82
窃盗犯	558	689
知能犯	11	4
風俗犯	3	13
その他	123	105
合 計	814	904

● 窃盗犯が全体の68.6%(前年76.2%)。うち万引きが42.7%(前年51.8%)。



少年刑法犯 学職別状況

	H26	H25
小学生	83 (14)	44 (9)
中学生	317 (64)	403 (101)
高校生	195 (42)	245 (58)
有職少年	128 (12)	100 (9)
無職少年	74 (16)	86 (21)
合 計	814 (151)	904 (202)

※ ()内は女子の内数。

● 中学生が全体の38.9%を占める(前年44.6%)。

